

児童ら430人

仕事楽しむ

豊見城、20企業指導

【豊見城】仕事の楽しさを学ぼうと「グツジョブ☆とよみ わくわくワークショップ」(同連絡協議会主催)が1日、豊見城市立中央公民館で開かれ、とよみっ子約430人がウーシ染めやパティシエなどの仕事に挑戦し

た。みんなでグツジョブ運動推進事業、市PTA連合会文化事業として初開催された。



約20の企業が会場にブースを設け、担当者が仕事内容を説明した後、実践する際のこつを指導した。子どもたちは職業体験を通して将来の夢を描き、働く意味や喜びを体験した。

ラジオ局リポーターを

「FMとよみ」でラジオ放送の仕事に挑戦した金城里奈さん(右) 1日、豊見城市立中央公民館

体験した渡慶次乙愛さん(11)とよみ小5年は「敬語を使い、大人に質問するのが難しかった」と話した。

ホテルや旅行社の他、お菓子の包装袋をデザインする体験などがあった。琉球新報社は新聞の速報を発行する体験ブースを設置。子どもも記者が会場の様子取材し、速報300枚を発行した。